

# 災害ごみ処理で協力

愛知や三重 実施できる見通し

小泉進次郎環境相と河野太郎防衛相は三日、台風19号で被災した長野市を訪れ、陸上自衛隊が撤去作業に携わっている災害廃棄物の集積場を視察した。小泉氏は、災害廃棄物処理に関し「環境省と防衛省の連携を新たなステージに向けて行きたい」と述べ、両省で平時から協力していく考えを示した。河野氏も「環境省や自衛隊の役割、自治体に任せる部分などをマニュアル化できるのではないか」と語った。

また、小泉氏は、長野県の災害廃棄物の県外処理に関し、現在の富山県に加え、愛知県と三重県でも実

施できる見通しになったと明らかにした。

◇

愛知県環境局によると、環境省から県内の民間施設で被災地からの災害廃棄物の処理が可能かどうか照会を受け、業界と相談して「可能」と返答している。受け入れ可能なごみの量や内容は、これから調整する。